



「不屈」NO.595 付録
石川版 NO. 352
2024年1月15日
治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟石川県本部
〒920-0856
石川県金沢市昭和町 5-13
石川県平和と労働会館 2F
国民救援会石川県本部 気付
TEL・FAX 076-262-3447

2024年の年頭にあたって

治安維持法同盟石川県本部 会長 尾西洋子

新年あけましておめでとうございます。

昨年暮れの12月26日、近江町いちば館広場入口で、消費税導入の24日前後に毎月行ってきた年内最後の署名宣伝行動を行いました。

年末は、びっくりする程の物価高で、「手も足も出ません」と署名するお母さん、自営業のIさん、10月にインボイスが実施され廃業するかどうか？—こんな人が増えている。

国民には増税、自らはパーティー券の裏金で私腹を肥やすやっとなん！こんな日本でいいのかと怒りいっぱいです！

ガザの子どもたちが心配—21世紀にまさかの歴史の逆走！と10000円のカンパ！

日本海唯一の戦闘部隊がある小松基地強靱化に122億円！—小松が一番危ない！

戦争と気候危機—人類の未来が、子どもたちの未来が心

配！

いま一番政治に望むことは？「消費税の減税」！シール投票で貼っていかれました。

新しい年は選挙の年です。

金権・腐敗の自民党政治を終わりにしましょう！

「戦争への道は足が速い」「戦争と弾圧は手をつないでやってくる」—こうした中で昨年奥能登支部が誕生しました。—うれしかったです！

先人の不屈の闘いに学んで、再び戦争する国にしてはならない！

心をひとつに、6月の第41回全国大会、県大会にむけて同盟運動の更なる飛躍の年にしましょう！

謹賀新年



鶴彬の碑前祭(9月14日)を終えて

かほく市高松 親族代表 喜多義教

(2023年11月 記)

鶴彬の碑前祭に、大勢の方々に参加いただき、誠にありがとうございました。親族を代表して一言「あいさつ申し上げます。」

今年は鶴彬が東京の中野署で拘束され、獄死してから85年になります。今年の高松歴史街道フェスティバルは鶴彬没後85周年記念ということで、佐高信さんをお願いして講演会を開くことができました。

講演会で佐高さんは、「政府は汚染水ではなく処理水というべきだと主張するが、言葉の言い換えによって都合の悪いことを隠して誤魔化しているのではないかと指摘されました。」

鶴はその逆であります。鶴の川柳の中にはたとえば、「タマ除けを産めよ増やせよ勲章をやらう」であるとか、「屍のいないニュース映画で勇ましい」など、政府は「勲章」や「勇ましい映画」を巧みに使って若者を戦争へと駆り立てましたが、鶴はそのからくりを見事に見破って言葉にしたのです。佐高さんはそういう鶴のことを「言葉の狙撃手」と呼ばれました。私はそういう鶴の仕事をもっと世の人に知らせていく必要があるのではないかと思います。

また演説会の後、会場から「鶴彬は治安維持法の犠牲者である。現在、治安維持法にあたるような法律みたいなものはあるのか」という質問があり、佐高さんは「すでにある。そして現在、あの時代に近づきつつある」と答えられました。

私は鶴彬をたたえる活動のなかで、鶴が治安維持法の犠牲者であり、現在、鶴の生きた時代に少し近づいてきている

ことに警鐘を鳴らす活動もしていく必要を感じました。

さて今年もまた、市民川柳を募集してきましたら、小、中学生からたくさん作品が寄せられました。しばらくコロナで授賞式がなかったのですが、今年授賞式を開催することができ、ほとんどの受賞者とそのご家族が参加して下さいました。小学生部門では「戦争はとても悲しい道へ行く」(最優秀賞)など、戦争をテーマとした川柳が寄せられていました。戦争の悲惨さ、平和の大切さを子供の頃から学ぶことはとても大事だと思います。

来年からも鶴彬川柳大賞、かほく市民川柳祭などを通じて、鶴の川柳に触れてもらい、ますます鶴のことを一人でも多くの方に知っていただければと思っております。どうもありがとうございました。

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

1. 治安維持法体制の復活に反対する
2. 国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
3. 国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

国会請願署名(6/1~)

2024年1月1日現在

個人署名	目標	300筆
	到達	237筆
団体署名	目標	200筆
	到達	7筆

会員数(1月1日現在)

214名(入1・退0)

語りと生演奏によるコラボレーション

朗読

「お千代」

谷口善太郎（加賀歌二）短編小説



語り手

ならいのぶこ
奈良井伸子

プロフィール

わらべうたとえんげきの広場はちみつ主宰ストーリーテラー。東京でストーリーテリング・言語造型・演劇教育を学ぶ。2011年、震災をきっかけに帰郷。音楽・ダンス・絵画等、さまざまなジャンルのアーティストらとともに作品を創作。劇場に限らず、寺院やカフェ等様々な場で上演を行っている。

主な出演作品は、朗読劇「空の村号」「相馬移民奇譚」、外部出演に泉鏡花戯曲大賞「水向茶碗」また、タント演劇学校舞台劇「オクラバン」朗読劇「燃えよ高尾城」の脚本演出、能美市の郷土文学を読む会・朗読劇「踊る」脚本演出などを手掛ける。

*2024年は谷口善太郎没後50年になります。

ミニライブ

雪のちゃんぶる・コンサート



雪のちゃんぶる プロフィール

川崎正美、草次親子によるフォークユニット。父、正美はフォークグループでえげっさあメンバー。笠木透さんが創設したフォーク集団「雑花塾」の一員としても活動している。草次は父の影響を受け、小学生の頃からギターを鳴らしたり、作曲したりしてきた。雑花塾の創作活動にも参加し、「芯をはずすな」「黄昏」など笠木透さんの詩にも数多く作曲している。2023年春、初の個人アルバム「川崎草次作品集」をリリースした。

*演奏曲は、「ワーママブルース」「水に流すな」「コバルトブルーシー」など。

● 1月27日(土)14:00~16:00

● 平和と労働会館3階ホール(昭和町)

参加費：団体分退金 3,000円 / 個人は1,000円（青年 500円）

*駐車場は狭いため、近くの有料駐車場をご利用ください。

主催：新春のつどい実行委員会(構成団体)

安楽廃棄石川県実行委員会、石川憲法会議、石川県母親大会連絡会、石川県平和委員会、石川県民主医療機関連合会、石川県労働者学習協議会、石川県労働組合総連合、原水爆禁止石川県協議会、子どもと教科書石川ネット21、新日本婦人の会石川県本部、戦争をさせない石川の会、治安維持法同盟石川県本部、日中友好協会石川県支部、日朝協会石川県支部、日本国民救援会石川県本部、日本民主青年同盟石川県委員会、農民運動石川県連合会、非核の政府を求める石川の会、平和・民主主義・革新の日本をめざす石川の会

<オブザーバー参加>石川県宗教者平和協議会

【事務局連絡先】076-231-3199 (県労連)

治安維持法と 現代

2023
秋季号
No.46



■ 巻頭論文

歯止めなき軍事国家日本を憂う

——いまこそ歴史の教訓を踏まえるべき時

瀬瀬 厚

ブック対談

菱谷 良一 (生活図画事件)
小林 節 (憲法学者)

- 炉心溶融汚染水の放出を中止すべき理由 池内 了
- 「敵基地攻撃」能力の危険な企み 五十嵐仁
- 映画をもって民衆の中へ—山本薩夫監督 石子 順
- 伊藤千代子・相沢良の青春と治安維持法 高崎裕子

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 編